

# ほめちぎる免許合宿 中国語でも



中国語ができる教習指導員の中野ミチヨさん(右)から道路標識の説明を受ける中国人教習生

教室内のディスプレイの画面に日本の道路標識が浮かび上がり、台湾で15年暮らした教習指導員

## 伊勢の自動車学校

「ほめちぎる指導」を掲げる三重県伊勢市の自動車教習所「南部自動車学校」が、在留中国人を対象にした免許合宿に力を入れている。こうした教習所は全国的にも珍しいといわれ、在留中国人が各地から集まってくる。

## 在留中国人対象「他にない」

この教習所には中野さんのほかに5人の中国人指導員がいる。1回あたり2週間のコースに6人を受け入れており、学科教習はもちろん、教習所内や路上での実車教習も全て中国語で進めている。インターネットで免許合宿を知った静岡県湖西市在住の梁琴さん(37)は「全ての教習を中国語で行うところは他に見当たらず、安心して免許が取れると思った」と話す。日本の運転免許取得を希望する在留中国人は年々増えている。こうした背景から、中国語で運転免許の学科試験が受けられる都道府県は全国に広がっており、三重県免許センターでは2018年4月から受けられるようになった。

南部自動車学校は17年5月に在留中国人向けの免許合宿を始めたが、当初は1コースで1人しか受け入れられなかった。全ての教習を中国語とする教習所は全国的にも少ない。ニーズに応えるため、中国本土で募集をかけるなどして指導員を増やした結果、10月から1コースあたり6人の受け入れが可能になった。八田宜彦業務課長は「全国から問い合わせが相次いでおり、現在は2カ月近い順番待ちが起きている」と話す。南部自動車学校は「ほめちぎる指導」でも知られている。「しかられる場所」との教習所へのイメージを覆そうと、13年2月から指導方針を転換。少子化で自動車運転免許の取得人口が減り、若者の車離れが進むなか、ユニークな経営で入校者を増やしている。指導員は、一般社団法人「日本ほめる達人協会」の「ほめ達人」検定3級を取得しており、中国人指導員も、この資格取得が求められるという。(安田琢典)

## 芦名定道・京都大

(宗教学)

政府が推進したい大学において、明確に反対する声明を出し、そこが問題になったのだと述べているのは科学技術のあり方にコントロールしようとしていることを考え、どう対応するのか、考えていきたい。

## 宇野重規・東京大

(政治思想)

内閣によって会員に任命されるについては特に申し上げること的社會を支える基盤は多様な民主的社會の最大の強みは、批判に自らを修正していく能力にあるがこれからも鍛えられ、発展し確信している。

## 岡田正則・早稲田大

(行政法学)

会員の適否を政治権力が決めれば、日本学術會議の独立性は疑問の自由の制度的枠組みの破壊術會議法を通じ選定・罷免(ひめる)のは学術會議であり総理大臣首相はこの違憲・違法状態を侮

## 加藤陽子・東京大

(日本近代史)

法解釈の変更なしには行えない菅総理がなぜ行ったのか、意を説明できる決裁文書があるの尋ねてみたい。日本は人文・社した総合知を掲げざるを得ないの意向に従順ではない人々を切が進行したのだと思う。

## 小沢隆一・東京慈恵会医

(憲法学)

かつて科学は政治に従属してた。この苦い教訓を踏まえ、日憲法が定める学問の自由の保障された。権力に左右されないで、政府と社會に政策提言すだ。任命拒否は、その目的と職

## 松宮孝明・立命館大

(刑事法学)

菅首相が6人を落としたこと、罪だ。だが官邸は憲法15条定罷免(ひめん)権を元に合法てる。ヒトラーですら全権を掌握な法律を必要とした。憲法を訪者になろうとしているのか、とろしいことだ。

「と連絡し、ライズが調べた。c t c が営業のマネージャーであったという。

